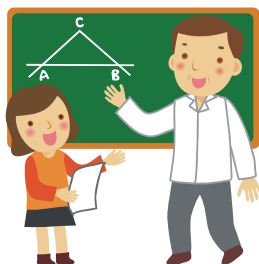


いじめ対応マニュアル (改訂版)

「守る」「気付く」「防ぐ」

1	「いじめ」とは……………	1
(1)	いじめの定義……………	1
(2)	いじめの態様……………	1
(3)	「けんか、からかい」と「いじめ」との区別……………	1
2	子どもの悩み・苦しみを受けとめましょう……………	2
3	いじめから「守る」初期対応……………	2
	速やかに適切に対応しましょう	
4	いじめに「気付く」チェックリスト……………	3
	子どものサイン・変化を見付けましょう	
(1)	いじめられている側のサイン例……………	3
(2)	いじめている側のサイン例……………	5
(3)	家庭・地域社会におけるいじめ発見のポイント……………	5
5	いじめを「防ぐ」……………	6
	いじめの起こりにくい学校・学級づくりを	
6	関係諸機関との連携……………	7
7	主な相談窓口・専門機関等……………	7



2013年9月
町田市教育委員会



1 「いじめ」とは

(1) いじめの定義〈「いじめ防止対策推進法」第1章（総則）第2条（定義）〉

「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

(2) いじめの態様

いじめの態様とは、心理的・物理的な攻撃のことです。（●心理的 ■物理的）

- 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる。
- 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話等で、掲示板への書込みによる誹謗中傷や悪質な動画投稿等のいやなことをされる。
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- 酷くぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- 金品をたかられる。
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。

いじめか*いじめ*でないかは、判断が難しいものもあります。大切なことは、それらを明確にすることよりも、いじめにつながる可能性があると判断した事例全てに対して、適切に対応することです。

(3) 「けんか、からかい」と「いじめ」との区別

「けんか、からかい」と「いじめ」との決定的な違いは、そこに「対等な力関係があるかどうか」「動機とそれに伴う感情」の2点です。

「けんか」はどちらかが歩み寄れば関係は修復されます。「からかい」も対等な関係があり、からかわれた子どもが傷付かない原則があります。

「いじめ」は相手が「負け」を認めているにも関わらず、特定の子を執拗に悪意をもって傷付けようと攻撃をします。

2 子どもの悩み・苦しみを受けとめましょう

【悩む・苦しむ子どもの姿】

- いじめられる子どもの「人に知られたくない」「みんなに心配をかけたくない」という思いから、問題が見えにくくなっていることがあります。
- いじめの事実を大人に告げることによって、さらに自分へのいじめがエスカレートすると恐れている子どもがいます。
- 悩み、苦しみながら、誰にも相談できず、一人で問題を抱え込む子どもがいます。

【悩む・苦しむ子どもへの支援】

- 子どもが、いつでも気軽に相談できたり、大人と話をしたり、大人と一緒に活動したりする場を工夫しましょう。
- いじめられている子どもには、最後まで守り通すことを約束するとともに、「あなたは悪くない」と伝え、自尊感情を失わせないようにしましょう。
- いじめられていることを一人で悩み、苦しみ続けるのではなく、必ず誰かに相談するよう、積極的に呼びかけましょう。
- 保護者・地域住民の方々には、日頃から、子どものサインに気付き、子どもの悩み・苦しみを受けとめるよう、広く呼びかけていきましょう。
- 保護者等がより一層相談しやすいよう相談体制を工夫しましょう。

3 いじめから「守る」初期対応 速やかに適切に対応しましょう

初期対応の流れ	取組
1 いじめの発見・認知 2 報告（5W1Hを正確に） 「誰が」「いつ」「どこで」 「だれと」「何を」「どのように」	○学級担任、教職員による観察 ○子ども・保護者の訴え ○「心のアンケート」、教育相談 ○外部からの情報 ○発見者及び認知者は、直ちに主任教諭、主幹教諭、校長・副校長に報告
3 事実確認と情報整理及び 関係保護者への連絡・説明 ※ 訴えには、「あなたを全力で守る。」「お子さんを全力あげて守る。」と伝える。	○いじめの態様の把握・教育委員会へ第一報 ○当該の子ども、関係者からの聞き取り （話しやすい人や場所等の配慮、複数の教職員で聞き取り、情報提供者の秘密を守る） ○関係保護者へ連絡・説明（家庭訪問が原則）
4 情報共有と共通理解及び 校内体制の編成	○会議等で情報共有、指導・援助方針の共通理解、役割分担 ○スクールカウンセラーやいじめ対応サポートチーム（指導課）、スクールソーシャルワーカーとの連携
5 子どもへの指導及び保護者との連携	○被害者（いじめられた子ども）へ 徹底して味方になる。表面で判断せず、支援を継続する。 ○加害者（いじめた子ども）へ いじめの背景を理解し、行為については毅然と指導する。 ○観衆・傍観者へ 学級・学年等全体の問題として、教師が子どもとともに真剣に取り組む姿勢を示す。

4 いじめに「気付く」チェックリスト 子どものサイン・変化を見付けましょう

いじめの早期発見・早期対応のためには、子どもが発するサイン（言葉、表情、しぐさ、行動）や変化を見逃さないようにしましょう。

また、発達障害等の配慮を要する子どもについては、本人が自覚しない中、からかいや冷やかしの対象になったり、好ましくない行動をさせられたりすることがあります。

なお、サインの内容や表れ方は、それぞれによって異なることを十分に認識し、理解したうえで、次のチェックリストをご活用ください。

(1) いじめられている側のサイン例

朝の会・授業前	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 急に一人で登校するようになった。朝早く登校するようになった。 <input type="checkbox"/> 遅刻・欠席・早退が増える。また、その理由をはっきりと言わない。 <input type="checkbox"/> 遅刻ぎりぎりに登校する。 <input type="checkbox"/> 挨拶をしなくなり、視線が合わなくなる。友達と一緒にいても表情が暗い。 <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える。 <input type="checkbox"/> 友達と関わらない。 <input type="checkbox"/> 朝から服が汚れている。 <input type="checkbox"/> 提出物を出さなかったり、期限に遅れたりする。 <input type="checkbox"/> 出席確認の際、返事の声が小さい。
授業中	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 教室に入れず、保健室に行くことが多い。 <input type="checkbox"/> 学習用具等の忘れ物が多い。 <input type="checkbox"/> 机、教科書、ノートなどに落書き、汚れ、破損などが見られる。 <input type="checkbox"/> 発表をためらう。極端に周りの目を気にする。 <input type="checkbox"/> 発言したとき、周囲がざわついたり、野次がとんだり、大げさに感心されたりする。または、反応がない、無視される。 <input type="checkbox"/> 他の子どもから発言を強要される。 <input type="checkbox"/> 文字や作品等が乱雑になっている。筆圧が弱くなっている。無気力な状態が見られる。 <input type="checkbox"/> グループづくりの際、孤立したり、必要以上に同じグループに誘われたりする。 <input type="checkbox"/> 成績が急に低下する。 <input type="checkbox"/> 他の子どもから、机を離される。 <input type="checkbox"/> 専科の授業でグループに入れない。グループに入っても役割等がもたされない。 <input type="checkbox"/> 専科の授業から一人で遅く戻る。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 休み時間に、自分の席から離れない。 <input type="checkbox"/> 無理やりのように友達に連れ出される。 <input type="checkbox"/> 一人で校舎内を歩いていたり、用もなく職員室や保健室に来たりする。 <input type="checkbox"/> 遊びの輪に入れず、校庭を一人で歩いている。 <input type="checkbox"/> 教室や学校図書館で本を一人で読んでいる。飼育小屋の動物を一人で見ている。 <input type="checkbox"/> 楽しそうな表情がなく、一人で寂しそうに教室に帰ってくる。 <input type="checkbox"/> 友達に必要以上に気を遣っている。 <input type="checkbox"/> トイレ内などで、複数の子どもたちに囲まれている様子が見られる。 <input type="checkbox"/> プロレスごっこなどで、技をかけられている。 <input type="checkbox"/> 一人で遊び道具を片付けさせられる。 <input type="checkbox"/> けがが多い。休み時間後、服装が汚れ、乱れている。

給食時	<input type="checkbox"/> 机を離される、寄せようとしない。寄せても隙間がある。 <input type="checkbox"/> 配られない、または極端に多く盛り付けられるなどのいたずらをされる。 <input type="checkbox"/> 配膳したり、されたりすることを嫌がられる。 <input type="checkbox"/> 給食を残したり、食欲がなくなったりする。 <input type="checkbox"/> 一人で給食、弁当を食べている。グループ内の会話に入れない。 <input type="checkbox"/> おかわりをすると、周囲が目配せをする。クスクスと笑いが起きる。 <input type="checkbox"/> 一人で片付けをしている。 <input type="checkbox"/> 給食当番の白衣などを複数洗濯している。
清掃時	<input type="checkbox"/> 他の子どもと離れて、一人で掃除している。 <input type="checkbox"/> 雑巾がけ、重い物運び、ごみ捨てなどの他の子どもが嫌がる仕事ばかりをしている。 <input type="checkbox"/> 多くの机を一人で運んでいる。 <input type="checkbox"/> 机やすいが運ばれないで放置されている。 <input type="checkbox"/> 目の前にゴミを捨てられる。 <input type="checkbox"/> 清掃後、授業に遅れてくる。
帰りの会・下校時	<input type="checkbox"/> 配布するプリントが、席を抜かされるなどして渡らない。 <input type="checkbox"/> 何か起きると責任を押し付けられたり、追及されたりする。 <input type="checkbox"/> 教師の近くから離れない。用もなく職員室の近くにいる。 <input type="checkbox"/> 急いで下校する。またはいつまでも学校に残っている。 <input type="checkbox"/> 下校中、友達の荷物を持たされる。 <input type="checkbox"/> 靴やかばん、傘などの持ち物が紛失する。 <input type="checkbox"/> 靴箱にいたずらをされる。 <input type="checkbox"/> 班ノート、学級日誌などに記入しなくなる。 <input type="checkbox"/> 一人で日直の仕事をしている。
クラブ・部活動	<input type="checkbox"/> 一人で準備や後片付けをしている。 <input type="checkbox"/> 部活動に遅れてくることが多くなる。 <input type="checkbox"/> グループに入れてもらえない、ペアが組めないで取り残される。 <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える。 <input type="checkbox"/> 順番を抜かされたり、ボールをパスしてもらえなかったりする。 <input type="checkbox"/> 失敗すると、他の子どもに強く責められる。 <input type="checkbox"/> 練習中や休憩中、一人で過ごす。 <input type="checkbox"/> 使用した道具を、他の子どもたちがさわろうとしない。 <input type="checkbox"/> 理由がはっきりしないけが、あざ、汚れがある。 <input type="checkbox"/> 部活動の欠席が増え、理由がはっきりしないまま、退部願いを申し出る。
学校生活全般	<input type="checkbox"/> 宿題や集金などの提出物が遅れる。 <input type="checkbox"/> 机、持ち物にいたずら書きをされる、壊される、無くなる。 <input type="checkbox"/> 席替えや班決めで、隣の席や近くの席になることを避けられる。 <input type="checkbox"/> ふざけた雰囲気の中で、班長や学級委員などに選ばれる。 <input type="checkbox"/> 他が嫌がる仕事や雑用を押し付けられる。 <input type="checkbox"/> 掲示物にいたずらをされたり、剥がされたりする。 <input type="checkbox"/> 黒板に中傷するようないたずら書きをされる。 <input type="checkbox"/> 掲示された写真に傷を付けられる。 <input type="checkbox"/> 友達関係が急に変わる。 <input type="checkbox"/> 嫌がらせの手紙や紙切れがある。 <input type="checkbox"/> 嫌がっているあだ名で呼ばれる。

(2) いじめている側のサイン例

子どもが出すサインを確実に受け止めるには、日頃から教職員と子ども、子ども相互、教職員相互、保護者と教職員等の間に温かい人間関係を作ることが大切です。

いじめた子どもには、いじめを行った背景を理解するとともに、いじめの行為に対しては毅然と指導することが必要です。傍観者となった子どもには、学級や学年等全体の問題として対応していくこと、いじめの問題に、教師が子どもとともに真剣に取り組む姿勢を示すことが重要です。

学校生活全般	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 教室や廊下、階段で、ひそひそ話をしている集団がある。 <input type="checkbox"/> 特定の子どもを見る目が厳しい。何か起きると責任を押し付けたり、追及したりする。 <input type="checkbox"/> 特定の子どもにだけ、周りが必要以上に気を遣う。 <input type="checkbox"/> 特定の子どもの発言に、顔を見合わせたり、さげすんだ表情をしたりする。 または、反応がない、無視する。 <input type="checkbox"/> 特定の子どもからの声かけを意図的に無視する。 <input type="checkbox"/> グループづくりで取り残された子どもに、誰も声をかけない。 <input type="checkbox"/> 仲間だけに分かるようなサインや隠語を使う。 <input type="checkbox"/> 教師が近付くと、急に仲のよいふりをしたり、笑顔で話しかけたりする。 <input type="checkbox"/> 教師が近付くと、急に話題を変えたり不自然に分散したりするグループがある。 <input type="checkbox"/> 絶対的なボスがいる。 <input type="checkbox"/> 教師によって態度を変える。 <input type="checkbox"/> 学級内で、いたずら書き、紙切れ回し、物隠しなどがある。 <input type="checkbox"/> 言葉遣いが乱暴である。 <input type="checkbox"/> 金品の貸し借りを頻繁に行う。
--------	---

(3) 家庭・地域社会におけるいじめ発見のポイント

子どもたちの豊かな学校生活のために、家庭・地域社会の協力を得ることが大切です。

子どもたちが発するサインに気付いたら、学校に相談していただくよう働きかけましょう。

家庭や地域での表情・態度	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 挨拶をしても返さない。 <input type="checkbox"/> 笑顔がなく沈んでいる。 <input type="checkbox"/> ぼんやりとしていることが多い。 <input type="checkbox"/> 視線をそらし、合わそうとしない。 <input type="checkbox"/> わざとらしくはしゃいでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 表情がさえず、ふさぎ込み元気がない。 <input type="checkbox"/> 周りの様子を気にし、おずおずとする。 <input type="checkbox"/> 感情の起伏が激しい。 <input type="checkbox"/> いつも一人で過ごしている。
身体・服装	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 身体に原因不明の傷などがある。 <input type="checkbox"/> けがの原因をあいまいにする。 <input type="checkbox"/> 顔色が悪く、活気がない。 <input type="checkbox"/> 登校時に、体の不調を訴える。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 寝不足で顔がむくんでいる。 <input type="checkbox"/> 服が汚れたり、破けたりしている。 <input type="checkbox"/> 服に靴の跡が付いている。
持ち物・金銭	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> かばんや筆箱等が隠される。 <input type="checkbox"/> 教科書やノートに落書きがある。 <input type="checkbox"/> 靴や上履きが隠されたりいたずらされたりする。 <input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持っている。 <input type="checkbox"/> 「なくした」「落とした」などと言うことが多い。 	

言葉・行動	<input type="checkbox"/> 他の子どもから、言葉かけを全くされていない。 <input type="checkbox"/> いつも一人でいたり、泣いていたりする。 <input type="checkbox"/> 登校を渋ったり、忘れ物が急に多くなったりする。 <input type="checkbox"/> 家から金品を持ち出す。
遊び・友達関係	<input type="checkbox"/> 友達から不快に思う呼び方をされている。 <input type="checkbox"/> 付き合う友達が急に変わり、大人が友達のことを聞くと嫌がる。 <input type="checkbox"/> 友達から笑われたり、冷やかされたりする。 <input type="checkbox"/> 特定のグループと常に行動を共にする。 <input type="checkbox"/> プロレスごっこなどにいつも参加させられている。 <input type="checkbox"/> よくけんかが起こる <input type="checkbox"/> 他の人の持ち物を持たせられたり、使い走りをさせられたりする。
教員との関係	<input type="checkbox"/> 教員の話をしなくなる。 <input type="checkbox"/> 教員と関わろうとしない、避けようとする。

5 いじめを「防ぐ」 いじめの起こりにくい学校・学級づくりを

いじめの未然防止のためには、日頃から「いじめの起こりにくい学校・学級」をつくることです。教師の言動や態度が子どもを傷付けたり、他の子どもによるいじめを助長したりすることがないよう教師自身が人権意識を高く保つことが必要です。

いじめの起こりにくい学校・学級（例）

〈子どもたちや学校・学級の姿〉

- 失敗しても認め合い励まし合う雰囲気がある。
- 子どもたちが規範意識をもち、規律ある生活を送っている。
- 表情がにこやかで言葉遣いが適切である。明るく挨拶を交わす。
- 児童会・生徒会活動や委員会、係活動にすすんで取り組み、頑張ろうとする雰囲気がある。
- 教室や学校が清潔で、美しく整頓されている。
- 規律ある楽しい給食の時間を過ごしている。残さいが少ない。
- 地域の人や保護者が気軽に来校し、学校の活動に協力する。

〈教職員の姿〉

- 全教職員が、校長を中心として、生活指導についての共通理解をもち、共通実践を行う。
- 教職員が、子どもたちの意見をきちんと受けとめて聞く。
- 教職員が、子どもたちに明るく丁寧な言葉で声をかけ、一人の人間として接する。
- 自らの言動が、子どもたちに与える影響の大きさを、教職員が強く自覚している。

参考・引用／熊本県教育委員会「いじめ対応の手引きーいじめを許さない学校・学級づくりのためにー」

〈保護者・地域住民の姿〉

- いじめは絶対に許されないと認識に立ち、学校・家庭・地域社会の連携を推進している。
- 気になる子どもを見かけたら声をかけ、いじめられる子どもがいたら徹底して守り通す。
- 保護者会や地域住民の会合等で、いじめ問題根絶に向けて話し合いなどを行っている。
- 子どもが相談しやすい雰囲気をもち、日頃から子どもとの信頼関係を深める。
- 子どもが安心する温かい家庭・地域社会を維持する。

6 関係諸機関との連携

いじめの早期発見・早期対応のためには、スクールカウンセラー及び関係諸機関との連携を密にするとともに、学校の相談機能の充実を図ることが必要です。

いじめ対応サポートチーム (指導課)	指導主事・スクールソーシャルワーカー・校長経験者・臨床心理士で構成しています。いじめ問題に学校とともに取り組み、子ども・保護者への支援を行います。
スクールソーシャルワーカー (教育センター)	スクールソーシャルワーカーは、社会福祉の専門的知識・技術を活用し問題を抱えた子どもを取り巻く環境に働きかけて調整し、様々な関係機関とともに問題の解決を目指します。
まちだJUKU (教育センター) ※小学校への対応は検討中	まちだJUKUは、専門チームが対象生徒の在籍校の1室を使用して、1週間個別指導を行います。 個別指導の内容は、在籍校の校長が当該生徒の状況に応じて作成しますが、学習指導だけではなく、生活指導、カウンセリングなども行います。
保護司、民生・児童委員	いじめや生活指導上の諸問題は、学校の内外を問わず発生します。地域で見守ってくださる方々とは、地域における子どもの様子について日常の情報連携に努め、問題解決に当たって行動連携を推進してください。
警察署、少年センター 児童相談所	子どもの生命または身体の安全が脅かされているような場合、直ちに警察に通報することが必要です。 また、犯罪行為として取り扱われるべきと認められるときは、いじめられている子どもを徹底して守り通すという観点から、警察へ早期に相談し、連携を図ることが重要です。 さらに、いじめの解決に向け、児童相談所との連携についても積極的な検討が必要です。
学校サポートチーム (警察署・少年センター、民生・児童委員、保護司、地域関係者、児童相談所、子ども家庭支援センター等)	学校だけでは解決できない困難事例の対応のため、学校と関係諸機関等が一体となった行動連携を図り、諸問題に対し、各機関の専門性を生かした多様な指導や支援を組織的に行います。

7 主な相談窓口・専門機関等

日頃から、子どもや保護者に、いじめなどの悩みを受け付ける相談機関等について、積極的に紹介することが重要です。学校以外の主な相談窓口等は、次のとおりです。

主な相談窓口・専門機関等	電話番号	所在地等
いじめ110番	042-724-2867	町田市教育委員会指導課
スクールソーシャルワーカー	042-793-2481	町田市教育センター
東京都いじめ相談ホットライン	03-5331-8288	東京都教育相談センター
子ども的人権110番	0120-007-110	法務局
八王子児童相談所	042-624-1141	八王子市台町2-7-13
ヤング・テレホン・コーナー	03-3580-4970	警視庁少年相談室
八王子少年センター	042-679-1082	八王子市南大沢1-155-4
町田警察署生活安全課少年係	042-722-0110(代表)	町田市旭町3-1-3
サイバー犯罪相談窓口	03-3431-8109	警視庁サイバー犯罪対策課
東京都立多摩総合精神保健福祉センター	042-371-5560	多摩市中沢2-1-3
東京多摩いのちの電話	042-327-4343	NPO法人
チャイルドライン	0120-99-7777	(18歳までの子どもが対象)